

取材先	結いの会		
企画名	結いの会オープンアトリエ!		
取材日	2021年2月21日(日)天候[晴れ] [10:00~16:00]	取材地	結いの会拠点(長府地区 旧教員住宅)

様々なジャンルのアーティストで構成された「結いの会」は2012年より梅ヶ峠の元梅光学院大学のキャンパスにて約30名の会員が約7年間活動をしていましたが、キャンパスの売却により移転を余儀なくされました。2020年初めに長府地区にある旧教員住宅に拠点を移すことになりました。しかし、場所がかなり縮小された為、現在会員の半数の方々が、アトリエとして使用しています。コロナ禍の影響により、一年越しに念願のオープンイベントを実現することができました。

ファッションクリエイターの松下知佐氏が使われている一室では、中古着物を世界に一つだけのオリジナルドレスにリメイクして展示されており、最近では珍しい昭和レトロな足踏みミシンが現役で活躍中でした。次に、万年筆作家である山藤茂氏の工房を訪れると、見慣れない加工機械と切削工具などが設置されており、材料となる国内外より取り寄せた万年筆の胴軸やキャップ軸の木材や樹脂などがぎっしりと棚に収められていました。作り始めて10年の間に手掛けられた万年筆は500本に達するそうです。

2日間のイベントでは、京都で長く伝統工芸の職人をされていた久保清三氏による「京友禅型染めワークショップ」や2020年度下関市芸術文化祭美術展で大賞を受賞された藤定早苗氏による「アート写真モデル体験」などがあり、参加された方はプロの方々から直に新鮮な刺激を受けることができ、貴重な経験になったことでしょう。芸術的な才能に溢れた方々が集まっていられるこちらのアトリエに、「ものづくり」の楽しさを体感しに足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

レポート



版画工房 河原氏



久保氏のアトリエ



機織り工房



事務局 金谷氏 代表 森野氏



映画館で御馴染みの「映画 泥棒」コスプレ

松下氏の作品





万年筆工房 山藤氏